

<b>対象患者</b>	術前化学療法で病理学的完全奏功を得られないトリプルネガティブ乳癌症例
<b>実施内容</b>	術後治療として、カペシタビンを 14 日間内服、その後 7 日間休薬。これを 1 コースとし、全 6~8 コース施行。
<b>目的・概要</b>	術前化学療法で病理学的完全奏功を得られなかったトリプルネガティブ乳癌に対して、術後補助療法としてカペシタビンを服用することで予後が改善することが知られています。
<b>実施期間</b>	2025. 4 月～
<b>予想される不利益と対策</b>	臨床試験による単剤投与における副作用発現率は 93.0%で、主なものに、手足症候群 59.1%、悪心 33.2%、食欲不振 30.5%、下痢 25.5%、赤血球減少（貧血・めまいなど）26.2%、白血球減少（感染抵抗力低下など）24.8%、口内炎 22.5%があります。特に手足症候群はゼロダの特徴的な副作用で、手や足に痛み・炎症・ひび割れ・水ぶくれができたり、皮膚や爪が変色したりすることもあります。症状の程度に応じ、休薬・減量・中止を検討します。
<p>当院病院倫理委員会において承認を受けた上記の使用について、対象となられる方から同意をいただくことに加え、病院ホームページにて情報を公開することにより実施しております。</p> <p>この内容に関して同意できない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。</p>	
<p><b>問い合わせ先および適応外使用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒193-0998 東京都八王子市館町 1163 番地  東京医科大学八王子医療センター 乳腺科 教授 山田公人  電話：042-665-5611（代表）  または、主治医に直接お申し出ください</p>	